

町づくりの 考えは？

問 21年度予算編成の方針は

答 「選択と集中」を図っていく



黒柳広治 議員

問 (1) 予算の編成組み替えの考えはあるか。
 (2) 歳入は昨年度より、10億7800万円減と思うが、どのように考えているか。
 (3) 新たな交付金、補助金があると思うが、歳入に繰り入れないのはどういうことか。
 (4) 歳出では、農林関係予算、教育予算の減額が見られるがどういうことか。

(5) 住民みずからが、「自分たちでできることは、自分たちの手で」を、合言葉に行政へ参加している市町村がある。本町の考えは。
答 (1) その考えはない。選択と集中を図っていく。
 (2) 徹底した事業の見直し、財政の健全性を維持することが喫緊の課題である。



小学生も参加して里山保全（坂崎）

環境経済部長 (3) 森と緑づくり税は、県の林務課公園緑地課、環境政策課、県の直轄と多岐にわたり、現在調整している。
総務部長 (4) 道の駅、大日蔭グラウンドの完了、給

食センター、幸田小学校の整備、町民会館の大規模修繕などが終了したため。
町長 (5) よく留意し、実現に向け検討する。



大嶽 弘 議員

問 幅広い住民意見の収集と反映を

答 町民との信頼関係の熟成に努める



昨年開かれた学区懇談会

問 厳しい環境の変化などで「行政課題山積」といわれている。(1) 本町の主な行政課題をどのように認識しているか。(2) 住民意見をどのように吸い上げて、反映しているのか。(3) 今後の学区懇談会の開催計画は。

答 **町長** (1) 基本的には、大変厳しい経済状況であるが、総合計画に沿って対応していく。特に災害復旧事業は、発注をほぼ終えている。(2) コミュニケーション不足が、色々な面で誤解を招く。私の説明責任、役割は極めて大事だと思ひ、町民との信頼関係の熟成

に努力をしていく。(3) 課題、問題をかかえている所は努力をしていく。

動植物の保護、保全対策を

問 将来を担う若者（新成人）は、郷土に愛着を感じ、こころ豊かな町づく

地域の環境保全で管理

答 **町長** (1) 毎年新成人と語る会を開催している。特に郷里を離れている人たちに、幸田町に対する思いなどを聞き、町づくりの参考にしていく。

環境経済部長 (2) 平成14年に環境基本計画をつくり、町内の動植物の現況把握調査をおこなったが、保全運動はしていない。地域の環境保全や自然観察会で管理されている。文化財保護委員会があり研究をお願いしていく。

答 **町長** (1) 毎年新成人と語る会を開催している。特に郷里を離れている人たちに、幸田町に対する思いなどを聞き、町づくりの参考にしていく。

環境経済部長 (2) 平成14年に環境基本計画をつくり、町内の動植物の現況把握調査をおこなったが、保全運動はしていない。地域の環境保全や自然観察会で管理されている。文化財保護委員会があり研究をお願いしていく。

問 学校の地デジ移行は早急に

答 3～4年かけて整備する



水野千代子 議員

問 2011年7月24日までに、地上デジタル放送への完全移行が予定されている。国では、生活保護世帯やNHK受信料全額免除世帯などに、簡易チューナーの無償給付を決めている。本町の移行までの取り組みを問う。

- (1) 町営住宅への対応は。
- (2) 経済弱者への支援と老人世帯などに、きめ細やかな説明を。
- (3) 学校、公共施設の移行は早急に。
- (4) 避難所となる地元公民館には助成を。
- (5) 悪質商法やアナログテレビの不法投棄の対策を。

答 **総務部長**

(1) 共同アンテナなどの設置は、町が実施予定。
(2) 受信者支援センター（デジサポ）とも連携をとり説明会を開き、きめ

細かく対応する。

教育部次長

(3) 小・中学校で209台ある。まず平成22年度職員室に設置し、3～4年かけて整備をする。

総務部長

(4) 公民館などは、行政区管理のため、町が買い換えをする考えはない。

(5) 関係する警察、ケーブルテレビ会社とも連携をとり、注意していく。リサイクル方法もPRしていく。

「聴講生制度」の導入を

問 家庭の事情などで十分な学校教育を受けられなかった人、もう一度基礎を身につけたい人に対して、町内の小・中学校で、生徒と一緒に授業が受けられる

「聴講生制度」が必要と考える。
希望する授業の教科書、教材は実費負担であり、町の予算は使つことはない。
生涯学習を推進して、地域の教育力を高め、さらには、開かれた学校へとつながられる「聴講生制度」の導入を提案する。

教師は教育指導に専念させたい

答 **教育長**

地域との連携を図りながら、子どもを育てるという意味で、開かれた学校づくりは、学校運営上、重要な視点と考える。いつまでも学び続けたいと考える町民のニーズは、生涯学習の立場からも重要である。

学校教育は、安全で落ち着いた学習環境や子どもの

プライバシーを守る必要がある。教師は、子どもの教育指導に全力をあげ職務に専念してもらいたい。

今後、研究を進めていきたい。



テレビで道徳の授業（深溝小学校）



酒向弘康 議員

問 「ゼロ予算事業」の取り組みを

答 職員パワーを使って展開する



役場1階の事務室

問 景気後退の急激な変化に対し、さらなる行政改革の推進が求められることから以下を問う。

(1) 「幸田町行政改善調査委員会」の内容と行政に反映した事例は。

(2) 「儲ける」新たな歳入の検討状況は。

(3) 「抑える」事務改善提案制度の活性化を。

(4) 「使わない」節約の取り組みの強化を。

(5) 全国の自治体に広がっている「ゼロ予算事業」本町も取り組みを。

(6) 第9次行政改革大綱の骨子案の考え方は。

答 **総務部長** (1) 民間委員の意見を聞き、行財政の簡素・効率化、住民サービス向上が目的。事例は、行政評価制度の導入や職員の制服廃止など。

(2) HPや封筒のスポンサー探しなど努力。

(3) 制度を利用した提案はなく、そのあり方を検討する。

(4) 職員の政策研究の中でアイデアを取り上げ活性化を進める。

(5) 職員パワーを使って事業を展開。

(6) 住民視点の住民サービス、将来を見据えた健全な財政運営、人材育成と行政体制整備で展開する。

アダプト制度の導入を

問 厳しい財政状況や職員のスリム化の推進で行政にすべてのサービスの要求は困難になってきている。行政主導から住民本位の地域づくりが課題だ。

(1) 平成23年度以降「農地・水・環境向上対策」活動をどうつなげていく

体制づくりを 検討

答 **環境経済部長** (1) 基本的には、平成23年までの計画だが、事業の評価がされれば、24年以降も継続されるものと考えらる。

町長 (2) 多くの団体が地域を守る活動を展開していただいている。器材などの提供を含め検討する。

(3) 町民にわかりやすい形の体制づくりを検討する。

※ アダプト制度とは、「養子縁組をする」という意味で、公園や道路など公共の場所を「子ども」に見立て任意の団体が「里親」となって、自主的に美化活動を行うこと。

問 地球温暖化防止対策の施策は

答 太陽光発電システムの補助



鈴木博司 議員

問 幸田町もごみの減量と地球温暖化防止を目的にレジ袋有料化が8事業所と締結し、4月1日よりスタートです。

(1) レジ袋有料化でゴミ減量がどのくらいと試算しているか。

(2) レジ袋有料化によって住民の環境への意識の高揚への効果はあるが、ゴミ減量には、もっと効果のある施策も必要と思われるが、どのように考えているか。

(3) 全国で太陽光発電システムの設置拡大対策がすすめられているが、町の今後の補助事業計画の予定は。

課題。

マイバックによる買い物とごみの出し方のスタイルを、生活の中へ訴えていく。

(3) 平成17年から平成21年

まで5年間で補助している。平成22年度以降は、まだ決まっていないが太陽光発電システムで、積極的な政策ができるようにしたい。

クリーン運動の回数拡大を

問 自分たちの住んでいる地域の環境は、自分たちが守る奉仕作業がある。

行政の要請でおこなわれる作業に、危険な堤防の草刈や野焼きがある。高齢者世帯は参加免除すべきと思うが、町の考えは。行政がおこなう野焼きが

違法でなければ、要望の多い草と剪定枝専用の簡易な処理場を作る考えは。クリーン運動を町民半数参加で年4回の実施を。

現況は むしろかしい

答 **建設部長** 堤防の草刈や野焼き作業は、大変危険を伴うことであり、高齢者世帯の参加免除は、区で検討していただきたい。

環境経済部長 簡易な焼却施設は、法律でダイオキシン対策として800度で連続燃焼が決められていることから、処理場の設置は無理である。

5月30日がごみゼロの日、30日から1週間が「ごみ減量リサイクル推進週間」であり、9月24日から10月1日が、「環境衛生週間」で

あることから、この時期に合わせてクリーン運動をお願いしている。年4回の実施はむしろかしい。



奉仕作業で河川愛護



丸山千代子 議員

問 産後ヘルパー派遣で援助を

答 状況を調査し今後検討する



4カ月健診ママといっしょ

問 産科医不足で里帰り出産できないなど問題になっている。
また、妊娠がわかった時点で予約しないと受け入れてもらえない。
核家族化の進行、実家の両親が共働きや遠方で産後の援助を受けられないケースもあり、ヘルパーの派遣

を望む声がでている。
援助を受けられない母親のために、出産後の精神的身体的負担を軽減する「産後ヘルパー派遣」の取り組みを。
答 **健康福祉部長** 産後ヘルパー制度は、県下では刈谷市が平成19年度から実施

問 国の制度である児童扶養手当は、所得に応じた支給制度であるにもかかわらず、父子家庭は低所得でも支給の対象外である。
年収300万円以下の父子家庭は約37%もある。
母子家庭と同様に、仕事と育児の両立は大変であり、子育て真っ最中の父子家庭へ支援する自治体ができている。
今年4月から実施する知立市のように、父子家庭児童扶養手当の支給で、子育て支援の充実を。

父子家庭児童扶養手当で支援を

し、名古屋市、半田市、豊明市が実施している。安城市は、平成21年度から実施予定。
制度の必要性はあると考えているが、体制をとっていくためには、ヘルパーの人材と費用の問題がある。赤ちゃん訪問事業、新生児訪問事業などとあわせ、母親の置かれている状況を調査しながら、今後の課題として検討していく。

具体化にむけ検討をする

答 **健康福祉部長** 父子家庭は、父親が働いているという前提で法律が考えられているため、児童扶養手当が支給されていない。しかし、実際には収入が少なく生活の苦しい家庭が現実にあることから、検討しなければならぬ課題であると考えている。
町長 状況は理解している。支援の具体化にむけて検討していく。

問 住民投票で住民意思の確認を

答 その意思はない

問 住民投票条例を制定する自治体が広がっている要因と認識は。

首長と議会、住民との感情のズレが深刻だからこそ、住民投票条例の制定を求める住民運動が広がっている。町長や議員を選挙で選んでも、白紙委任や丸投げはしていない。

施政方針は「住民の目線に立ち」だが、住民の目線避けて、新駅設置を強行する町長と議員に批判と怒りが集中している。

高浜市の「住民投票条例」の目的が「すばらしい」と言つたら、なぜ住民投票条例を制定しないか。

答 **町長** 行政不信に対する住民の抵抗だろうと思う。常設型の条例は、住民参加の道と評価はするが、積極的には賛成しかね、住民投票条例提案の意思はない。

新駅誘致は、3期目の政治公約として総合計画にも位置づけ、6学区に説明会を開いてきた。

急激な景気後退があったが、今取りやめると町政全般に影響し、むしろ不信を増幅することになる。

有権者の3分の1以上の意思があれば辞職せざるを得ないと思う。

障害者控除認定証交付の改善を

問 介護保険の要支援1から要介護5までの人は、障害者として所得控除の対象認定者にあたるが毎年申請書送付、障害者認定証の交付をしている。症状が改善し要支援、要介護でなくなる限り、毎年の申請書送付をやめ、自動的に認定証の交付を。

4月から、介護認定の新方式の導入で、重度の人が軽度判定され、自立、介護なしと意図的につくり出す仕組みで、要介護、要支

援でなくなる懸念がある。新方式にどう対応するか。



中央公園でお花見

次回からは証明書を送付する

答 **健康福祉部長** 医師の意見書に基づく判定と認知症の状況などで、該当者に申請書を送付し、申請によって証明書を出している。次回からは、再認定された時の医師の意見書を見直しながら、障害者控除の証明書を送付するよう変えていく。

新しい認定方式は、全国統一の基準だが、国ではパソコンのソフトができていないため、まだわからない。障害者控除の対象は、医師の意見書で判断するためそれほど変わらないと思う。

いっぱん質問 その後

追跡

あの答弁は
どうなったの！

平成17年3月定例会
水野千代子議員

環境保全の 取り組みを

町独自の地球温暖化防
止策を。

町職員による研究会、
研修、調査などを進めて
いる。

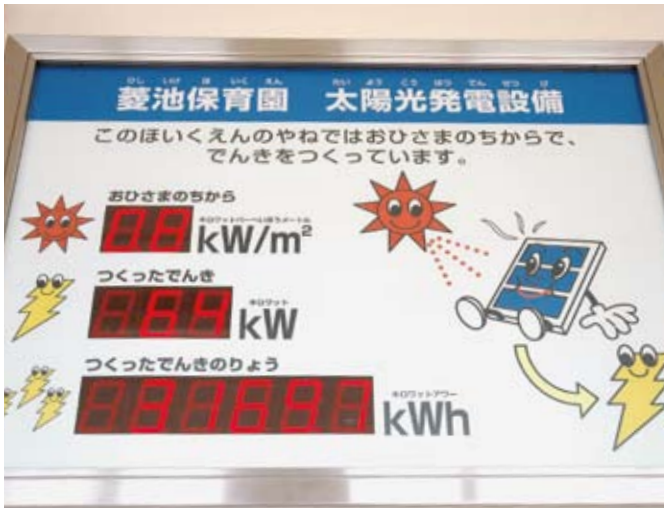
その後
afterward

太陽光発電システム補
助制度を平成17年度に導
入。

- ・住宅 現在81基補助
- ・公共施設 菱池保育園
一般廃棄物最終処分場
本年新給食センターに
設置を予定。

公共施設を対象に地球
温暖化対策実行計画を策
定し、平成21年度〜平成

25年度までに温室効果ガ
ス排出量を6%削減に向
けて取り組んでいく。
公用車の燃料使用量を
減らす取り組み
・近距離の移動は、徒歩
や自転車を利用します。
最も排出量の多い電気を
5.5%減らしていく。



菱池保育園のソーラーパネル

平成18年6月定例会
伊藤 宗次議員

特産品の絵柄を 強化磁器食器に

question

新給食センターで使用
する食器を強化磁器に変
更し、特産品の絵柄を描
き、食育教育の一環に。
給食配送車にも楽しい
絵柄を。



筆柿・ナス・いちごトリオの食器

その後
afterward

町の特産品の絵柄は遊
び心もあり、実現の方向
で考える。配送車にも楽
しい絵柄を検討したい。

anwer

食器選定委員会を4回
開催し、強化磁器に決定。
平成20年11月に校長会
に依頼して小・中学生に
絵柄を募集し、本年1月
にデザインを決定した。
配送車は、今後の検討
課題である。